

<7月のこよみ>

- 1日 社会を明るくする運動
- 7日 七夕
- 10日 交通安全県宣言の日
- 16日 家庭の日
- 20日 土用
- 21日 夏の交通事故防止運動
- 23日 大暑
- 26日 土用の丑

町だより

広報こすど

人口のうごき

(53・6・1現在)

男	5,153 (-2)
女	5,477 (-5)
計	10,630 (-7)
世帯数	2,379 (-2)

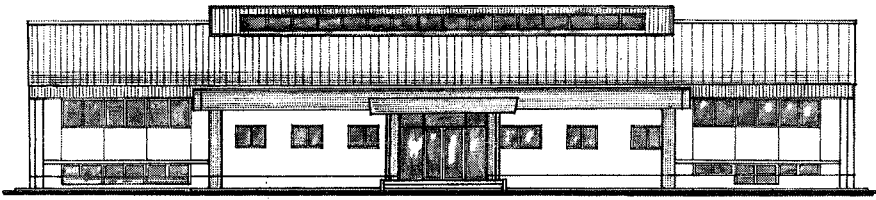
発行所 小須戸町役場 ☎ 3111
 毎月1日発行 印刷 玉庭印刷所

No.64

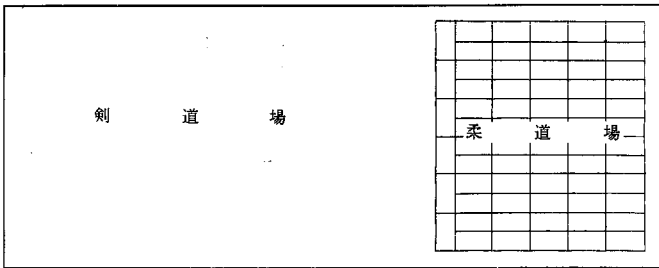
昭和53年

7/1

完成予想図



平面図



用具入	廊下		ホール	廊下	
	洗面所 女更衣	洗面所 男子更衣室		事務室	女子便所
	女 関				

また当施設の敷地内にはゆったりとした駐車場も備える計画です。

昭和五十三年度の重点施策として計画しておいた、小須戸町柔剣道場建設事業が、この度、文部省から正式に事業決定され、建設事業国庫補助金として七百三万二千円の内、

昭和三十二年の重点施策として計画しておいた、小須戸町柔剣道場建設事業が、この度、文部省から正式に事業決定され、建設事業国庫補助金として七百三万二千円の内、

昭和三十二年の重点施策として計画しておいた、小須戸町柔剣道場建設事業が、この度、文部省から正式に事業決定され、建設事業国庫補助金として七百三万二千円の内、

待望の柔剣道場 早期完成に向って原案まとまる



気象ひとくちメモ

七月一日は各地で山びらきが行われ、夏山シーズンの到来となります。

梅雨の最盛期で、六月末から七月中旬ごろの梅雨明けまでは、毎年あちこちで大雨が降り

梅雨が明けると「梅雨明け十日」といわれるように、晴れて暑い日が続くのが常で、

一年のうちで天気最も安定する時期です。海も土用波の立つことは少なく、山も好天に恵まれることが多くなります。

梅雨末期になると蒸し暑い日が多くなり、梅雨が明けると本格的な暑さがやってきます。

湿度が高いと蒸し暑く、風があるとしのぎやすいなど暑さの感じは気温だけでなく湿度や風にも左右されます。

この暑さの感じを示そうとしたのが不快指数で、気温や湿度から計算され、風は

関係ありません。寝苦しい夜もある夏の夜は、一晩にふつうの大人で百五十〜二百ccの汗を出すといわれます。寝具の吸湿性、通気性、室温その他の環境条件を整えて安眠を確保し、夏バテを防ぎたいものです。

一晩に牛乳ひん 一本分の汗をかく

七月になると台風が発生がふえ、例年一〜二個接近します。ときには梅雨前線を刺激して大雨が降りますが、秋台風にくらべて移動が遅いので、あわてず対応したいものです。

△気象庁天気相談所 所長 藤井辰男

